

至誠館大学

科目名	経営学概論			コード	1300		
英語表記	Business Administration						
担当教員名	古田 正雄			年度	平成28年度		
基準年次	1年次	開講期	前期	単位数	2		
授業形態		授業形式	講義	履修形態	選択		
授業概要							
企業の仕組みとはどのようなものか、経営の4要素(ヒト、モノ、カネ、情報)が企業の中で果たす役割を理解するための基礎知識を学ぶ。また世界経済のグローバル化にともなう新しい経営手法を学ぶ。							
到達目標							
経営とは何か、個人ビジネスとの違いを理解し 将来のMBO(Management Buyout)や起業チャンスを掴むために必要な経営基礎知識の取得を目指す。							
授業計画							
第1回	経営概論を学ぶ意義	経営学とは、経済発展と2種類の需要の理解、					
第2回	日本的経営の特徴	日本産業の発展史、日本的経営の三大特徴					
第3回	P.F.Drucker著「現代の経営」	Sears,Foed,IBMから学ぶマネジメント3大機能(事業、人、組織)					
第4回	経営戦略と競争戦略	ド・メイン、ポジショニングの重要性、企業が発展する3種類のイノベーション					
第5回	会社の仕組みと事業ビジョン	会社法とデジタル起業ツールネット、経営理念と事業ビジョンの作り方					
第6回	組織作りに必要な要素	3つのモチベーション理論、強い組織の作り方、目標管理と評価制度の実際					
第7回	経営戦略の作り方	ビジネスシンキングに必要なフレームワーク(3C分析、SWOT分析、マーケティングMIXの4P)					
第8回	マーケティングMIXの4P	Searsに学ぶ5つのマーケティングイノベーション、Product, Price, Place, Promotion、					
第9回	会社の経理と資金	生産・販売・回収サイクル、決算書類(P/L, B/S, キャッシュフロー他)					
第10回	経営分析	損益分岐点、総資本利益率、自己資本利益率、ROEやDCFで投資価値を判断					
第11回	経営改善手法 ①	事業再構築と縮小均衡の違い、サプライチェーンマネジメント(SCM)					
第12回	②	キャッシュフロー経営、M&A、MBO、ナレッジマネジメント					
第13回	リスクマネジメントと企業倫理	インベスター・リレーション(I R)、コンプライアンス、内部統制					
第14回	グローバリゼーション①	グローバルビジネス展開パターン、経済連携協定の影響と効果、グローバル企業実例					
第15回	②	アジアの中間層需要、貧困ビジネス(BOP)展開					
評価方法及び基準			評価項目と割合(%)				
期末試験、レポート課題、出席回数で決める。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
出席率70%未満の者、および授業態度の良くない者は			0	45	5	50	0
授業外学習			テキスト、教材				
			特に定めはない。必要に応じてプリントを配布する。 ただし、必ず各自経営学関連の参考書を持参すること。				
参考書			受講生へのメッセージ				
P・F・Drucker著「エッセンシャル版」マネジメント 基本と原理 ダイヤモンド社			レポート等の提出はWORD、EXCELで作成のこと。 毎回出席が前提で、必ず予習と復習を行なうこと。				
キーワード							
経営とは、 日本的経営の特徴と弊害、 経営分析 、Cash FloW、 Globalization							